



報道関係者各位

2021 年 11 月 22 日

Whoscall 株式会社

台湾発着信識別・迷惑電話/SMS 対策アプリ「Whoscall」

「勤労感謝の日」期間限定キャンペーンを実施

～SMS アシスタント機能をさらに便利にアップデート～

全世界のダウンロード数が今年 6 月に 9,000 万件を突破した着信番号識別・迷惑電話/SMS 対策アプリ「Whoscall（フーズコール）」（本社：福岡市、CEO：ジェフ・クオ）は、防犯アドバイザーの京師美佳氏による推薦を受け、ユーザーからも広く支持された結果、2021 年 9 月には日本の App Store でアプリランキング総合 2 位を獲得しました。11 月 23 日（火）に「勤労感謝の日」を迎えるにあたり、より多くの方に Whoscall の便利さを実感していただくため、11 月 23 日（火）から 30 日（火）までの期間にプレミアム版にご登録いただいた方限定で年間ご利用料金 30%オフキャンペーンを実施いたします。

防犯アドバイザーの京師美佳氏もお勧め

Whoscall が「勤労感謝の日」期間限定 30%オフキャンペーンを実施

Whoscall は日本の皆様からのご支援に感謝するために、詐欺が多発する年の瀬に向けて、「勤労感謝の日」期間限定 30%オフキャンペーンを実施いたします。数多くのユーザーからご好評いただいている詐欺防止技術によって、さらに多くの人々を詐欺の脅威からお守りいたします。

11月23日（火）から30日（火）までの間に、iOS 及び Android で、初めて Whoscall プレミアム版年額払いプランをご利用の方に限り、30%オフの料金でアプリをご利用いただけます※。Whoscall プレミアム版サービスは、「知らない番号の識別」「迷惑電話自動着信拒否」「SMS アシスタント」「発信元不明の着信履歴識別」「番号検索（回数制限なし）」の5つの主要機能で、知らない番号からの電話や SMS に関する不安や問題を総合的に解決するお手伝いをいたします。

Whoscall 日本エリアマネージャーであるロー・ウェイチェンは、「Whoscall は、現在 30 代から 50 代までのサラリーマンの方々を中心に多くご利用いただいております。仕事の関係で知らない番号からの電話対応が必要な方からご好評をいただいております。Whoscall は、詐欺電話による被害を防止するだけでなく、多くの方が迷惑だと感じる営業電話に関しても識別が可能です。そのため、重要な用件の電話にはすぐに応答または折り返すことができ、ユーザーに安心感を与え、無駄な時間を節約することができます。今回の勤労感謝の日期间限定キャンペーンを通して、新社会人や年配の方々にも Whoscall を活用していただき、仕事や生活をよりいっそう有意義なものにしていただくことができるよう願っております」と述べています。

※本キャンペーンは、「Whoscall プレミアム版の新規購入者（過去に一度も Whoscall プレミアム版ご購入及びトライアル試用のない方）」のみが対象です。ご了承ください。

限定キャンペーンに加えて、SMS アシスタント機能のアップデートも実施

また、Whoscall は勤労感謝の日期间限定キャンペーンに加え、年末年始に向けて、より多くのユーザーが詐欺被害から身を守ることができるように、サービス提供開始から 1 年が経過した「SMS アシスタント機能」をアップデートしました。今回のアップデートにより、SMS アシスタント機能は、メッセージにフィッシングサイトの URL が含まれているかどうかを自動的に識別するだけでなく、メッセージの内容を識別しカテゴリーごとに自動的に分類できるようになりました。メッセージは自動で「迷惑メッセージ」（詐欺やフィッシングなど、危険性があるもの）、「取引メッセージ」（認証コードなど）、「プロモーション」（キャンペーンや広告など）といったカテゴリーに分類されるため、SMS 受信フォルダをスマートに管理できます。

Whoscall は、昨年 SMS アシスタントのサービスを開始して以来、フィッシング対策協議会などの情報セキュリティ機関と協力し、詐欺行為に関する調査や被害防止に努めております。また、防犯アドバイザーの京師美佳氏は、「Whoscall の SMS アシスタントは、プロでも識別が困難なほど巧妙になった迷惑メッセージを的確に見分けることができます。自動でメッセージを振り分けてくれるので、見分けるのが苦手なお年寄りや女性でも詐欺被

害に遭いにくくなりオススメです。勿論、私も利用していますが、最近数多く見られるフィッシング詐欺防止に非常に有効で、とても有用な機能です。おかげで迷惑メッセージを振り分けるために時間を無駄にする事がなくなりました」と述べています。



【防犯アドバイザー・京師美佳氏 プロフィール】



日本初の女性防犯アドバイザー、犯罪予知アナリストとして、情報番組や NEWS 番組などメディアにも多数出演。元警察署長の父や刑事の姉を持つ防犯のサブレッドとして、セキュリティ全般の知識を活かし講演や YouTube 防犯チャンネルなど啓蒙活動も行う。

2001 年 錠前師資格取得

2002 年 防犯設備士取得

2005 年 京師美佳セキュア・アーキテクト設立

2009 年 一般社団法人全国住宅等防犯設備技術適正評価監視機構理事就任

建物の防犯診断、防犯プロデュースなど専門家として幅広く活動を行う。「防犯アドバイザー京師美佳の安心生活をつくる自己防衛の心得 35」など著作多数。

【台湾発の着信番号識別・迷惑電話対策アプリ「Whoscall」とは】

台湾の Gogolook が開発・提供するスマートフォンアプリ「Whoscall」は、現在、全世界で 9,000 万ダウンロードを超えており、2015 年に「APP Store」のベストアプリに選ばれています。台湾では 2 人に 1 人がダウンロードする実績を持ちます。CEO のジェフ・クオは、台湾の総統・蔡英文（ツァイ・インウェン）氏から 2020 年 9 月に台湾総統イノベーション賞を受賞しました。2020 年は 2.8 億件の迷惑電話と迷惑 SMS を阻止しています。また、台湾では CIB（犯罪捜査局）、韓国では FSS（韓国金融監督院）、タイでは PCT（タイ警察サイバースクフォース）と協力して詐欺被害対策に取り組んでいます。日本では、福岡市の AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトに採用されています。2013、2016 年には、Google Play の「ベストアプリ」を受賞し、Google の元 CEO であるエリック・シュミット氏も自身のスピーチで Whoscall について称賛しました。

Whoscall では、膨大なデータベース及び AI 技術を用いて詐欺の電話番号を検出できます。SMS を利用した詐欺の場合、Whoscall がハイパーリンクスキャンテクノロジーを用いて、わずか 0.5 秒で 안드로이드対応端末に不審な SMS、及び悪意のあるリンクを検出します。コロナ詐欺の急増などを受け、Gogolook はスタートアップ企業への支援が豊富な福岡市に日本法人（Whoscall 株式会社）を設立しました。

今後も日本市場でのサービス拡大と消費者の安心・安全への貢献を目指します。

Whoscall (iOS/Android 版) : <https://general.onelink.me/3641113820/a0736524>

公式サイト : <https://whoscall.com/ja>

【会社概要】

会社名 : Whoscall 株式会社

代表者 : ジェフ・クオ（郭建甫）

所在地 : 福岡市

設 立 : 2020 年 11 月

事業内容 : 電話番号識別サービス「Whoscall
（フーズコール）」の運営・開発

U R L : <https://whoscall.com/ja/>



< 本件に関する報道関係者お問い合わせ先 >

Whoscall（フーズコール）広報事務局（共同 PR 内）担当：樋口、小山、南里

[TEL:03-6264-2045](tel:03-6264-2045) MAIL: whoscall-pr@kyodo-pr.co.jp